

# 帝国データバンクが分析 健康経営の現在地

## 宮城の健康経営進歩 認定数伸び率第4位

初めに、帝国データバンク仙台支店情報部長の中村肇さんから健康経営の現状分析について聞きました。まず中村さんが示したのは経産省の資料で「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」の都道府県別認定法人数を、2023年と22年で比較したデータ。「この1年で宮城県の伸び率は27.7%。全国第4位」となっており、県内企業の健康経営への注目度が高いことが伺えます。特に、従業員一人当たりの役割が大きい中小規模法人部門の伸びが顕著です。また、全国的にも優良法人認定企業数の伸びは順調で、42の都道府県で一昨年から昨年にかけての伸び率がプラス。こうしたことからも企業が健康経営に積極的なことが分かります。その要因の一つに中村さんが挙げるのが慢性的な人手不足です。「新卒に限らず、いい環境で働きたいというニーズが年々高まる中、認証制度にかなりのアピール力があると考えられる企業が多い。その表われではないでしょうか」

## メンタルヘルスが課題 対策検討する企業増加

同社が独自に実施した健康経営優良法人認定企業へのアンケート調査からも興味深い結果が出ています。「すでに取り組んでいる項目」では健康診断の受診義務化、感染症対策の実施が最も高い。一方で「これから取り組む項目」ではメンタルヘルス対策に関する項目が目立ちます。中村さんは「コロナ禍で在宅勤務など働き方が変化し、それに起因する心身不調が顕在化したことから、企業がその対策を打とうとする意識が高まっているのでは」と推察します。ただ、規模の小さな企業がメンタルヘルス専門の担当者を常駐させることには難しい。そこで経済産業省では令和5年度ヘルスケア産業基盤高度化推進事業の一環として、健康経営を志向する企業が心の健康保持増進に関する民間サービスを適切に選択できるための仕組みづくりに着手しています。「この取り組みが今後進めば課題解決につながるでしょう」と中村さん。また、企業内の健康データ

# 今や常識!? 優良法人認定企業続々 全国で宮城で「健康経営」の普及進む

経済産業省が2017年に「健康経営優良法人認定制度」を創設してから今年で7年になります。健康経営に取り組む企業は年々増えスピードも加速。それに伴いさまざまなデータの集積が進んでいます。今回は、全国の企業から集めた企業情報のデータベースを保有する「帝国データバンク仙台支店」に、同社が分析する健康経営の現状や、今後の展望などについてお聞きしました。

進に関する民間サービスを適切に選択できるための仕組みづくりに着手しています。「この取り組みが今後進めば課題解決につながるでしょう」と中村さん。また、企業内の健康データ

管理についても個人情報扱ったため、管理の方法で悩む担当者は少なくないようです。近年は企業向け健康管理システムサービスが増加しており関心も強いので、本格的に普及すればさらなる取り組み推進の一助になると、期待が高まっています。

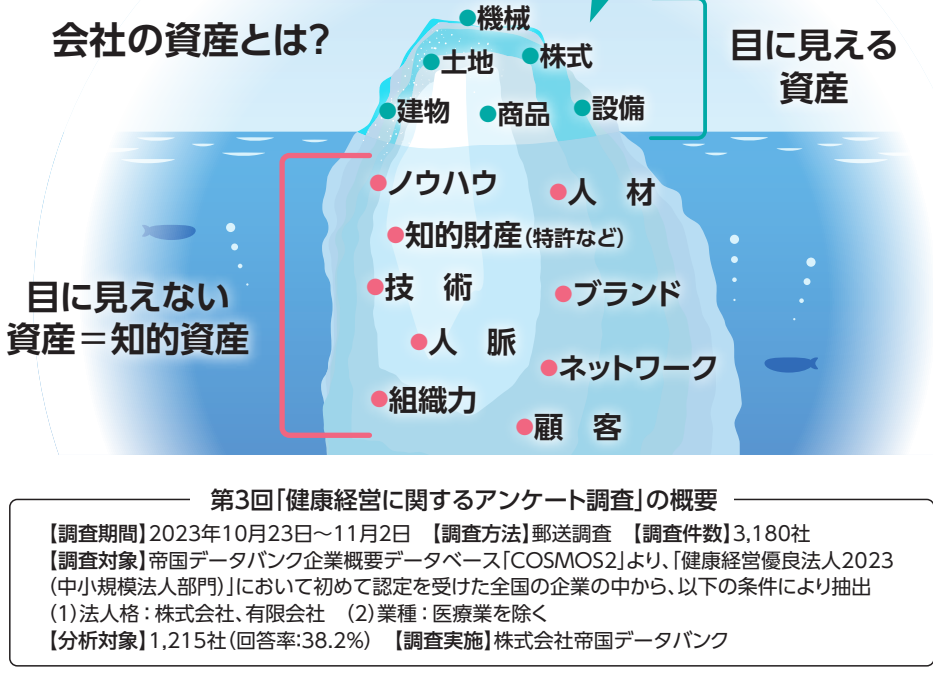
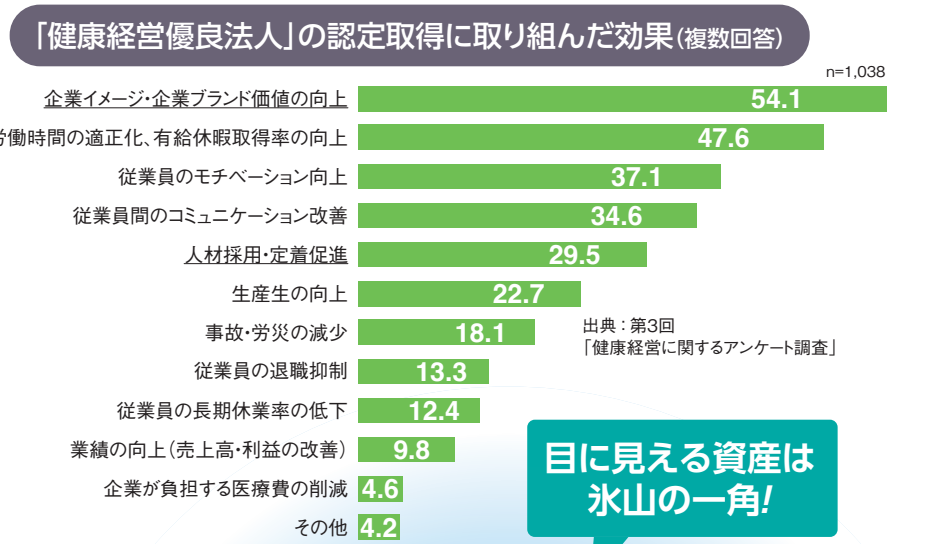
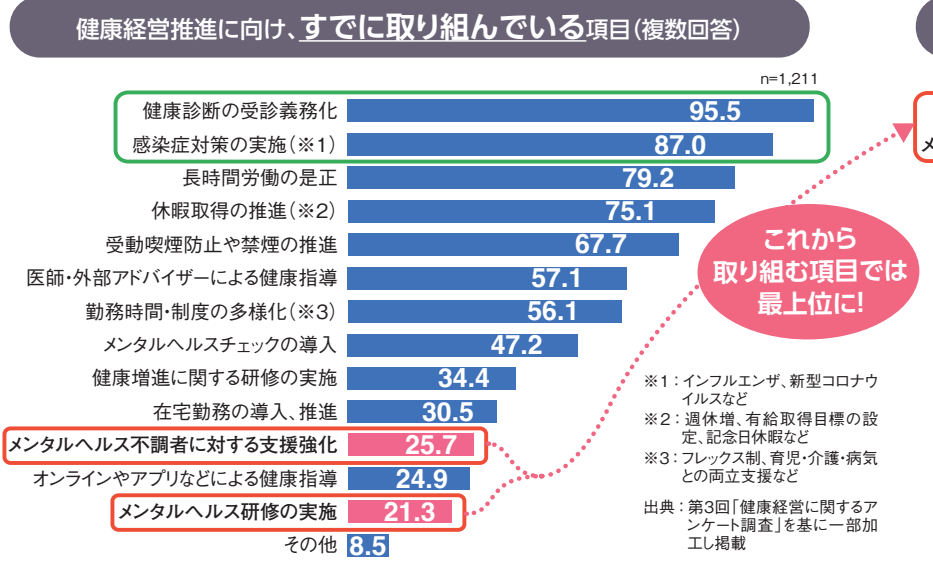
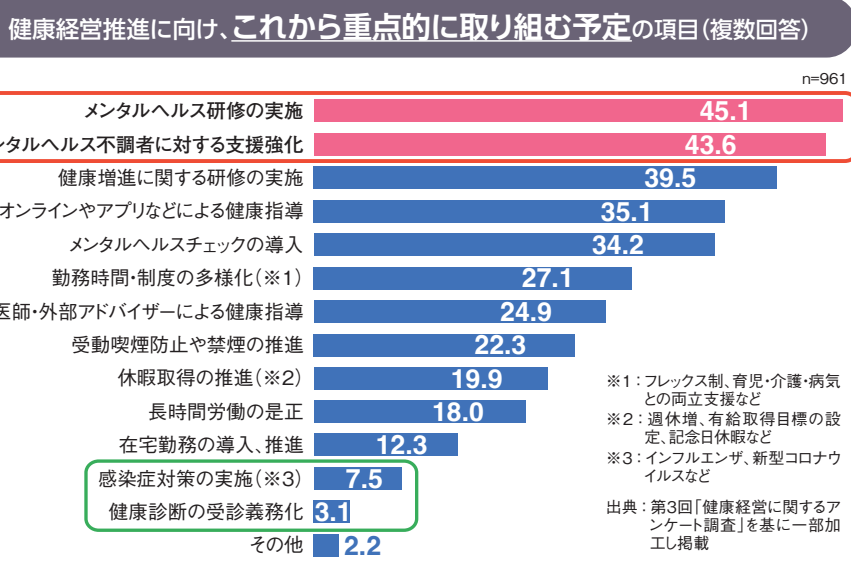
実際に認定取得に取り組んだ結果、実感する効果については「企業イメージ・企業ブランド価値の向上」がトップ。健康経営への取り組みが「従業員を大切にしている会社」というイメージづくりに寄与していることが伺えます。一方で、多くの企業が課題に挙げている「人材の採用・定着促進」に関しては、効果を感じていないという回答は3割弱。

「取り組み開始から日が浅い企業へのアンケートであったことに加え、求職者側の認知

度にも関わりがあるのでは」と中村さん。取り組みが進み認知が広がって人手不足解消への効果が実感されること、今後の健康経営浸透の鍵になりそうです。

知的資産経営の視点で、より的確な健康経営を

帝国データバンクでは健康経営などをはじめ、さまざまな経営戦略のベースとして「知的資産経営」の視点を持つことを企業に提案し、支援を行っています。知的資産とは、社屋、設備、商品など違い、表に見えない資産のこと。たとえばノウハウ、人材、人脈、組織力などのことで、氷山でいえば海面下に隠れている部分です。これを生かして業績向上に結び付ける経営が知的資産経営です。仙台支店長の岩城大一人さんは「知的資産経営を行うことにより、自社の強み、特徴、課題を捉え、進むべき方向がはつきりと見えてくる」と考えています。「その意義を説明。当然その対策の中には健康経営もあり、その内容的確かどうかを見つめなおすきっかけに



**「健康経営情報紙」を発行しました!**

タブロイド判 8ページ

健康経営 はじめよう!

職場まで お送りします

ご希望の企業・団体さまは 健サポフレンズにご登録ください!

ご登録いただいた後、健康経営情報紙をお送りします。

※数に限りがございます。お早目にお申し込みください。

**健サポフレンズ募集!**

職場での健康づくり(健康経営)に

① 取り組んでいる ② 取り組む予定がある ③ 取り組みたいと考えている

以上のいずれかに該当する、宮城県内に事業所を有する企業・団体であること。

登録のメリット

- 「健康経営勉強会」などに、優先的に参加可能。
- 「職場での健康づくり情報紙」などを職場まで、優先送付。
- 「健康みやぎサポーターズ」協賛社による、サービス提供・商品サンプリング・ミニセミナーなど。
- 健康経営・職場での健康づくりに関する、情報の提供・質問への回答・取り組み支援など。
- 登録各社からの情報や取り組み事例を、河北新報特集紙面および特設WEBサイトで紹介。

その他、健康づくりに関するさまざまなメリットを提供する、双方向の会員組織を目指します。

登録料・会費無料 健サポフレンズの新規登録は WEBサイトから

検索 健サポフレンズ

「健康みやぎサポーターズ」は職場における健康づくりを啓発し、「健康みやぎ」の実現を目指す河北新報社のプロジェクトです。従業員の健康を大切に、本プロジェクトを共に推進していただけの企業・団体による会員組織「健サポフレンズ」を募集します。

昨年10月に開催した健康経営勉強会

「健康経営」実践を応援します!